

東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻言語学専門分野  
専任講師公募要項

このたび、本専攻では下記のとおり専任講師を公募いたします。つきましては、関係各位への周知方、よろしく願いいたします。

1. 職 種

専任講師 1 名

2. 勤務形態

常勤（任期 5 年。更新なし）

3. 着任時期

2027 年 4 月 1 日

4. 試用期間

採用された日から 14 日間

5. 専門分野

分野：人文学

細目：言語学

6. 担当業務

・言語学研究室で行う研究と、学部・大学院の授業科目（演習・講義など）の担当、研究室運営、および学生の指導を行う。

・その他、大学及び研究科の定める業務。

変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある（意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第 4 条による。）

7. 応募資格

1) 言語学分野で博士号を有すること（取得見込みを含む）。またはそれと同等の研究実績を有すること。

2) 音声学・音韻論を中心とする言語学分野で、学部、大学院の教育・研究指導をする能力があること。フィールド言語学（日本語・英語以外の言語を主な対象とする）の教育・研究の経験があることが望ましい。

3) 国籍不問。ただし、学内業務に必要な日本語能力を有すること。

8. 勤務地

大学院人文社会系研究科（東京都文京区本郷 7-3-1）

変更の範囲：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第 4 条による。）

9. 勤務時間

専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分勤務したものとみなされる。

10. 休日

土・日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

11. 休暇

年次有給休暇、特別休暇 等

12. 賃金等

本学の就業規則に基づき処遇する。

13. 加入保険

法令の定めにより文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入

14. 応募書類

a) 履歴書（履歴書の所定様式および記入要領は下記ホームページからダウンロードで  
きる。<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>）。

b) 研究業績目録（著書、論文、研究発表、それ以外の発表（書評、研究報告書、研究  
ノート、翻訳等）などに分類すること）。

c) 上記 b) に記載した研究業績の内、主要業績 5 点の実物もしくは別刷（コピーも  
可）。

d) 今までの研究概要および今後の教育・研究計画の抱負（あわせて 1,000 字程度）。

e) 応募者の業績と人物をよく知る研究者 2 名の氏名と連絡先（メールアドレス）。

15. 提出期限：2026 年 9 月 17 日（木）（必着）

16. 選考方法

書類による選考の後、面接による選考を行うことがある。その際、模擬授業の実施を  
依頼する場合がある。面接に必要な旅費・滞在費等は応募者の負担とする。

17. 応募方法

応募書類を下記送付先に簡易書留にて送付すること。なお、封筒の表に「言語学研究  
室専任講師応募」と朱書すること。

応募書類等は返却せず、本選考の用途の限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三  
者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

18. 書類送付先

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院人文社会系研究科

言語学研究室 主任 小林正人宛

19. 問い合わせ先

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林正人

電子メール：masatok\_at\_L.u-tokyo.ac.jp

（メールを送信する際は\_at\_を@に直してください）

20. 募集者名称

国立大学法人東京大学

21. 受動喫煙防止措置の状況

敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

22. その他

- ・取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。
- ・「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の積極的な応募を歓迎  
します。
- ・産前産後の休暇及び育児休業の取得や、介護休業の取得など、研究活動を中断して  
いた期間がある場合は、その事情を応募書類等の末尾に記述していただいても構いま

せん。

・採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。